

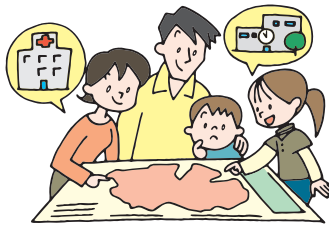
危険度マップ

(建物全壊率)

この危険度マップは、富加町に対して大きな被害が予想される大規模地震の内、最大震度となる「全国どこでも起こりうる直下の地震」が発生した場合に、予測される建物全壊率を指標にして作成したものです。

地図上には、この地震により予測される建物全壊率を1辺が約50mのメッシュ毎に着色しています。

この「危険度マップ」をご覧になって、皆様がお住まいの地域の危険度についてご確認いただき、住宅の耐震化や地域の防災などについて考えてみてください。



耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。目立った症状が無くても、耐震診断を受けることが重要です。

住宅の耐震診断が重要です!!

地震による建物被害は、耐震性の低い建物ほど大きく、建物の老朽化や間取りの悪さなどが要因として考えられます。そのため、震災による家屋の倒壊や家具の転倒から、大切な家族の生命を守るためには、まず耐震診断を行い耐震性を確認することが重要です。

耐震診断の結果、耐震性が低いと判断された場合には、耐震補強工事を行うなど耐震化を図り、地震に対して備えることが必要となります。

●耐震診断・耐震補強工事費の補助について

富加町では、耐震診断や耐震補強工事について、町民の皆様へ支援を行っています。補助の要件等については、産業建設課までお問い合わせ下さい。

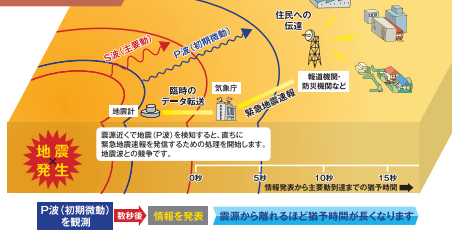
緊急地震速報

気象庁では、もうしき揺れることをお知らせする「緊急地震速報」を提供しています。震源の近くで地震の揺れ(初期微動)を観測して瞬時に解析し、より速く地域に強い揺れ(主要動)の到来を知らせるのが「緊急地震速報」です。

緊急地震速報をお聞きになった場合には、落ち着いて揺れに対処しましょう。

- 人が大勢いる場所 ▶ 係員の指示に従う。
- 自宅等 ▶ 頭を保護する。机の下に隠れる。
- 屋外 ▶ ガラスの落下の危険があるため、ビルから離れる。

緊急地震速報



緊急地震速報を活かすためには、日ごろからの地震への備えが重要です。

- 住宅の耐震化 ●地震時の心得 ●家庭内での耐震対策

(詳細はマップ内の資料を参照して下さい)

また、避難場所の確認や防災訓練の実施なども重要です。

避難場所の確認

- 避難所や近くの避難場所などを、現地に行って自分の目で確認しておきましょう。
- 安全に避難場所などに向かうことができるか経路を調べておきましょう。
- 勤務先近くの避難場所なども調べておきましょう。

危険な場所 崖崩れの起きやすい場所、堤防、上から物が落ちてくる可能性がある道路(屋外広告物)、ブロック塀・自動販売機の近く

安全な場所 広場、公園、空き地、田畑、上から物が落ちてこない場所

地震時の心得

エレベーターでは、最寄りの階で停止させて、すぐに降りましょう

買い物中は落下物に注意して

まずは落ち着いて身の安全を確保しましょう

あわてて外へ飛び出さない

非難口を確保しましょう

乗り物の中では乗務員の指示に従って、落ち着いた行動を

車はエンジン停止、キーはそのまま、ロックはしない

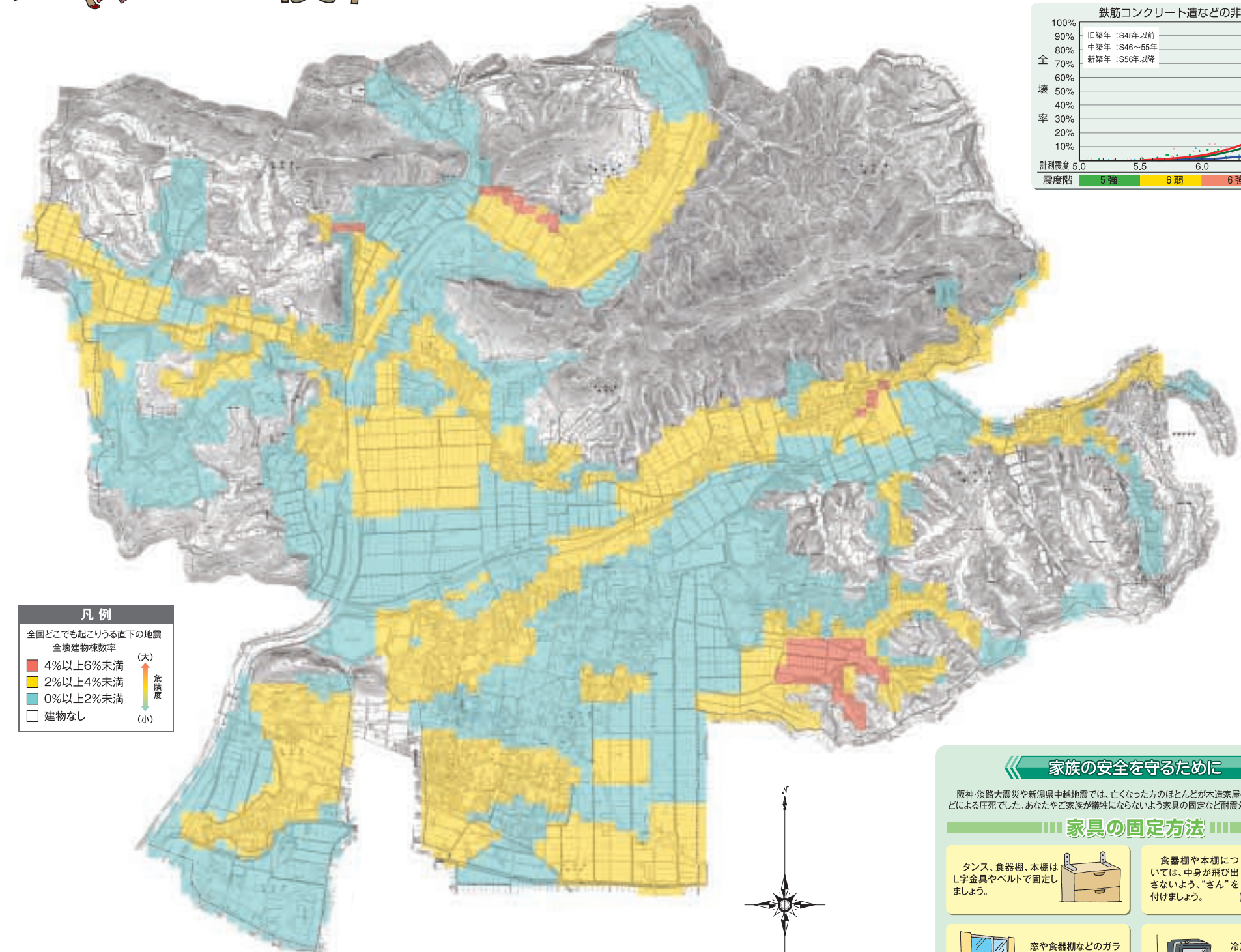
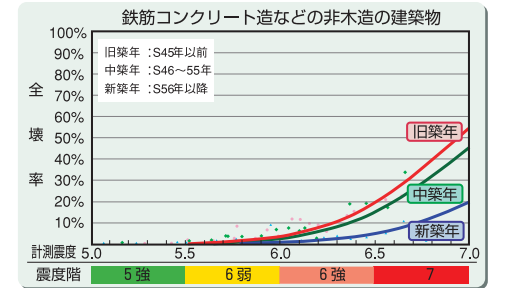
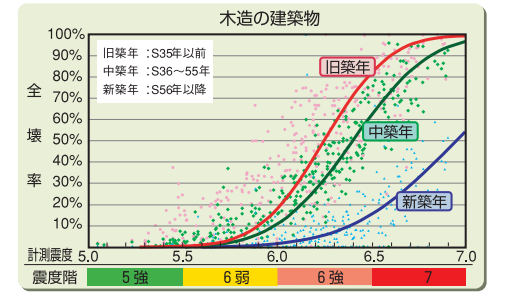
富加町の地域危険度

富加町では、直下型の地震(M6.9)が発生した場合、震度5強～震度6弱の揺れが予測され、この地震による建物全壊率は最も多い地区で5%と予測されます。

右図は、阪神・淡路大震災などの最近の地震による全壊被害の実感から、揺れの大きさ(計測震度)と全壊被害の関係を表したものです。

揺れによる建物被害は、揺れの大きさだけではなく、建築物の構造や建築年次によって被害の割合が異なります。特に、昭和56年に耐震性に関する建築基準が大きく改正されたため、昭和55年以前(旧築年・中築年)と昭和56年以降(新築年)の建物では、揺れによる建物被害の様相に大きな違いがあります。

過去の統計による「計測震度と建物全壊率」の関係



家族の安全を守るために

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震では、亡くなった方のほとんどが木造家屋の倒壊や家具の転倒などによる圧死でした。あなたや家族が犠牲にならないよう家具の固定など耐震対策を行いましょう。

家具の固定方法

タンス、食器棚、本棚はし字金具やベルトで固定しましょう。

食器棚や本棚については、中身が飛び出さないよう、「さん」を付けましょう。

窓や食器棚などのガラスには、飛散防止フィルムを貼りましょう。

冷蔵庫、テレビ、ピアノなどは壁面に固定して、移動を防止しましょう。